

ベテラン社員の確かな技術で プラスチック加工・製造に特化

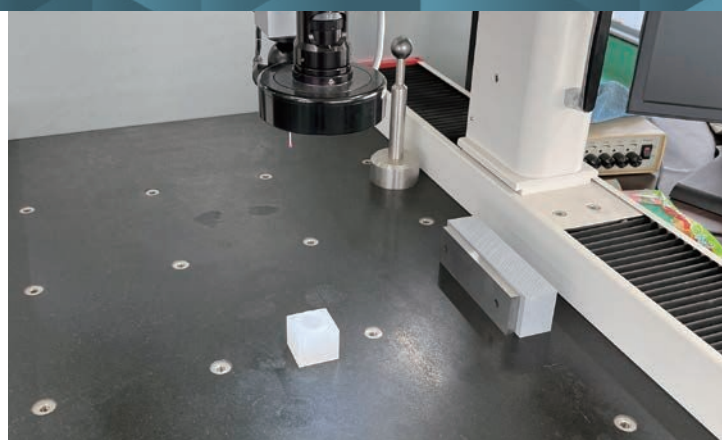
昭和59年に商社として創業し、平成5年からプラスチック加工メーカーへ業態転換。売上の多くを占めるのは、液晶や半導体などの製造ラインで用いられる機械部品だ。

従業員数は6名と決して多くないが、在籍歴の長いベテラン社員による確かな技術で、顧客から篤い信頼を得ている。顧客からのあらゆる要望にも対応するために、創業から40年が経過した今なお、誰一人として技術の研鑽を怠る社員はいない。むしろ、職人技に磨きがかかる一方だ。

住 所 | 〒570-0043 大阪府守口市東郷通3-13-29
TEL | 06-6992-6396 FAX | 06-6992-6134
創 業 | 昭和59年9月 設 立 | 昭和59年9月
資本金 | 1,000万円 従業員 | 6名
H P | <https://www.nprkk.co.jp/>

■主な事業内容
各種製造ライン用機械部品を主とするプラスチック加工メーカー

■主な取引先（納品先）
機械部品メーカー



極み

機械と職人技の 融合によって最高の 製品づくりを追求する

1mmの3/100という非常に細かな精度が求められる状況でも、機械と職人技の融合によって対応し、最高の製品を作ることが最大の強み。代表の吉野氏は、「機械だけではいいものがない。だからこそ、卓越した技術を持つ従業員の存在が大きい」と話す。

取り
組み

ものづくり企業が多い守口。 その利点を最大限に 活かす

以前からものづくり企業が多い守口らしく、地元企業との交流も活発。必要な部品を他社に発注すると、迅速に届けられることもあるなど、守口の利点を事業に活かしている。今後も、守口ならではの特性を活かしたものづくりに取り組んでいくスタンスだ。

今後の
展開

板状の大きな製品をはじめ 現状では 作れないものに挑戦

現在の機械設備でも顧客の課題を解決する製品を作り続けているが、まだ理想形には至っていない。作業スペースの拡張など越えるべきハードルは多いが、板状の大きな製品をはじめ現在作れないものを手掛けることで、さらなる可能性を広げていく考えだ。

日本プラアール工業株式会社

WEBサイト



代表取締役

吉野 栄治郎さん

時代や社会は変化しようとも、 私たちがすべきことは変わらない

昭和59年の創業から40年が経過し、ものづくりを取り巻く環境も大きく変化しました。当社も、大波に飲まれそうな苦しい時期もありましたが、おかげさまで多くの企業様から選ばれております。

私たちが大切にするのは、「できる理由を探す」こと。難しいと思ったことでも、実現方法を徹底的に考え抜く。できる理由を探して行動を起こすことで、顧客の課題解決も実現できるのです。

常に挑戦し続け、問題が発生しても個人の責任を追及せず、原因を突き止めることに注力しています。41年目以降も、私たちがすべきことは同じです。



NC施盤での加工



マシニングセンター



マシニングセンター自動運転中

推 し ポ イ ン ト

福利厚生・働く魅力 職場環境

社員の時間を尊重
残務対応時間は
個々が自由に決定



同社では、残業を極力発生させない環境が整えられている。完全週休2日の維持に加え、有給休暇の取得も積極的に推進。決して仕事ばかりに時間を割くのではなく、家族と一緒に過ごす時間を増やすなどプライベートも大切にしてもらいたいという代表の考えが反映されている形だ。

仮に残業が発生しても、夜遅くまでの業務を強要することはない。翌日の早朝に出社して対応するのよし、定時後に残って対応するのよしというように、対応方法は従業員に一任。こういった自主性を重んじる点や、働きやすい環境を整えている点などが、継続年数の長さにつながっている。